

令和4年度奈良県公立学校

教員募集のお知らせ



奈良県教育委員会



奈良県の子どもたちのために

今年の4月も、令和3年度新規採用の先生方を私たちの新しい仲間として迎えました。今を盛りに咲き誇る桜に見守られ、教員としての第一歩を踏み出してくれました。

近年、AI・IoTの進展やグローバル化の加速等による変化だけでなく、新型コロナウイルス感染症によって新しい生活様式の構築などの大きな社会の変化がもたらされました。否応なく変化が求められるこの激しい時代を生きる本県の子どもたちには、生涯にわたって「学ぶ意欲」をもち続けてほしいと願っています。

「学ぶ意欲」は全ての力の源であり、自身の可能性を最大限に伸ばす「鍵」となると考えるからです。今後はさらに、社会の変化に対して受け身ではなく主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して自らの可能性を最大限に発揮し、自ら人生を創出することも求められていくでしょう。

奈良県の先生には、「第2期奈良県教育振興大綱」の「本人のための教育」という方向性をふまえ、「奈良の学び推進プラン」の実現に向けて取り組んでいけるよう、「専門的力量」、「人間的魅力・人間性」、「学び続ける意欲」の3つを備えておいていただきたいと思います。卓越した知識、専門性、人としての魅力、教員としての向上心を持ち、新しい時代の新しい「学び」に対して子どもたちとともに挑み続けることができる、そのような先生が必要です。

学校は誰のためにあるのかと問われると、それは「子どものため」と誰もが答えるでしょう。では、学校は何のためにあるのかと問われれば、私は、学校は「不可能を可能にするため」にあると答えます。昨日できなかったことが今日できるようになる。今日上手にできなかったことが、明日少し上手にできるようになる。学校は学びの場であり、伸びる場であり、いくつもの「感動」がちりばめられている、そういう場所であってほしいと思います。子どもの成長を願いつつ、自らを磨き続けることで培った深い専門性と豊かな人間性で、子どもたちと正面から向き合うこと、そしてその成長に立ち会えることが教員の「喜び」であり、「やりがい」です。

みなさんにとって、「記憶に残る先生」とはどのような先生ですか。

うれしいとき共に喜んでくださった先生、辛いとき優しく寄り添ってくださった先生、ためらっているときそっと背を押してくださった先生、時に厳しく指導してくださった先生……。この先生との出会いにより、教員を目指した方もいるのではないのでしょうか。先生との出会いは、子どもたちの生涯に大きな影響を与えます。そのときは分からなくても、成長した子どもたちの人生に生きている教えもあります。

教員には定年がありますが、「先生」を引退することはできません。「先生」は、いつまでも教え子たちにとって「先生」であり続けるのです。教え子がいくつになっても「先生」として、その言葉が、その存在が教え子たちの心の支えとなる、奈良県はそんな「先生」を求めています。

奈良県の教員を目指すみなさん！

生徒の個性や価値観と向き合い、長所を伸ばす教育を展開することで、奈良県の学校教育の質をさらに高めていくことができます。皆でアイデアを出し合いながら、奈良県の教育に新たな価値を生み出していきましょう。

教育は未来をつくる営みです。私たちの仲間になって、奈良県の子どもたちの未来のために一緒に頑張りましょう。



奈良県教育委員会教育長 吉田 育弘

奈良県が求める教員像

子どもの学ぶ意欲を高め、生涯にわたり学び続ける力をはぐくむ人

豊かな人間性を持ち、「生きる力」を備えた心身とともに健やかな子どもをはぐくむ人

奈良の伝統、文化を理解し、地域と社会的絆の中で子どもをはぐくむ人

奈良県教育振興大綱

奈良県教育が目指す方向性

本人のための教育

1. 「学ぶ力」をはぐくむ
2. 「生きる力」をはぐくむ

教育施策の基本方針

1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ
4. 地域と協働して活躍する人を育てる
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる

東登美ヶ丘小学校 西村 翔

「心の声を聴くこと」

着任当初は心に余裕がなく、「してはいけません。」「やめなさい。」と、その場限りの指導をしてしまっていました。しかし、子どもの心に指導は響かず、同じことの繰り返しでした。先輩の先生に相談した時に、「もっと子どもの声を聴いてみたら？」と、アドバイスを受けました。その言葉に、今までの私は、子どもの話をあまり聞かずに指導していたと気付かされました。また、子どもの思いを聴き、受け止めることが「子どもと向き合うこと」だと学びました。子どもは時に思いもよらないことを考え、私が気付かないことを教えてくれます。どんなときも、子どもの心の声に耳を傾けることを忘れず、子どもと共に成長していきたいと思えます。



新庄小学校 茂木 陽菜

「1日1日を大切に」

4月、初めて子どもたちに会ったとき、緊張しながらも、この子たちのために頑張りたいと思いました。そんな中、すぐに緊急事態宣言が出て、しばらく子どもたちと会うことができなくなりました。分散登校が始まってからも、間隔の空いた机や活動の制限などに戸惑う日々が続きました。しかし、子どもたちは常に前向きで、毎日全力で学習に運動に励んでいます。共に学び、共に遊び、共に悩む毎日は、楽しいことばかりではありませんが、会えなかった日々を思うと、目の前の子どもたちのために頑張れる毎日に幸せを感じます。これから先も、初心を忘れず、子どもたちと過ごす1日1日を大切にできる教員でありたいです。



田原本中学校 田中 智章

「教員になって」

中学生の頃、先生方の懸命に働く姿に心を打たれ教員を志しました。そして、4月より教員となり、新型コロナウイルス感染症の影響での動画による授業配信や課題の作成、学校再開後の仕事の量や多様性に、驚きと戸惑いの毎日で、自分は教員として今後働いていけるのか悩むこともありました。そんなときに先生方の温かな支えや同じく教員になった友人たちの支え、そして何より生徒達の笑顔や元気な挨拶に励まされました。生徒たちはこのような状況下でも努力を怠らず、懸命に生活しています。子どもたちの姿から学ぶものは数え切れません。日々、成長を続ける子どもたちと共に学び合うことができる素晴らしい職業であると感じています。



片塩中学校 上平 亜樹

「変化の激しい時代を生きる子どもたちと私」

勉強が楽しい、学校が楽しいと思ってもらえる教員になるのが、小学生のときの夢でした。そして4月、憧れの教員となり、どうすれば子どもたちが毎日楽しくなるのかと試行錯誤する毎日です。授業がうまくいかなかったり、子どもたちにかける言葉で悩んだり、落ち込むこともあります。しかし、子どもたちの「できた!」という言葉や笑顔、成長を一番近くで見ることができます。そんな子どもたちの成長が私の元気の源になっています。今の子どもたちは、コミュニケーションにおける課題やSNS関連のトラブルなど、悩みも変化し複雑になっています。そんな変化の激しい時代に対応できる、柔軟な心を子どもたちと一緒に育てていきたいです。



畝傍高等学校 喜多 晴菜

「伴走すること」

憧れの「教師」という職に就き、はや一年。教材準備や日々の授業、部活動など、慌ただしくも充実した日々を過ごしています。そんな私が頑張れる元気の源は、生徒たちの声と笑顔です。「ここはこうじゃないですか？」という授業に関する前向きな質問も増えてきました。少しずつ生徒との距離が縮まってきたなども感じています。今まで、教師は生徒たちの前を走り導くべきだと考えていましたが、それだけではなく、生徒たちに「伴走する」ことの大切さと楽しさを日々感じています。生徒を教え導くのではなく、生徒とのたくさんの関わりの中で、ともに考え、切磋琢磨していき、そんな教員でありたいと思います。



明日香養護学校 葛城 慎太郎

「子どもたちに全力で向き合っ得たもの」

日々子どもと接する中でいろいろな発見があり、少しずつ成長する姿からたくさんのことを学ばせてもらっています。特別支援学校に通う子どもたちには「当たり前」という概念や「思い込み」というイメージをもって接するのではなく、どんな些細な発信にも常にアンテナを張り巡らせて、広い視野でいろいろな角度から子どもの姿を捉えていくことが大切だと実感しました。子どもの内にある力を引き出せるように寄り添い、今後の様々な経験を通して教員として多様な学びを深めていきたいです。



辰市小学校 上辻 もも

「子どもと共に学ぶ」

当初、子どもに会えないまま過ごす時間が多く、戸惑いながらも、何を子どもに伝えられるかを考える日々でした。今は学校中から聞こえる子どもたちの声を聞くたびに、教員となった喜びを感じる日々を過ごしています。子どもとの関わりの中で、私に弱いところを見せてくれるとき、先生！と声をかけてくれるとき、その一つ一つがとても貴重な瞬間で、些細なことでも、思いを拾い上げられるようにと考えています。そのような子どもとの関わりの中で、目の前の子どもたちこそが、私の養護教諭としての自覚と責任を成長させてくれると感じています。そのことに常に感謝しながら、子どもと共に学び続ける、共に進んでいく教員であり続けたいです。



子どもたちと過ごしたこの1年
先輩たちの声

初任者のための研修

初任者は、教育公務員特例法において、採用の日から1年間、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得るため、学級や教科・科目を担当しながら実践的研修（初任者研修）を行うこととされています。

県教育委員会では、教科等指導や学級経営、生徒指導、人権教育等、様々な内容の研修をグループワークなど主体的に学ぶことができる方法を交えながら実施し、教員の資質・能力の向上を支援しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、内容に応じて、オンライン研修と教育研究所に集合しての研修に分けて、実施しました。

令和2年度の受講者からは、「初任者研修が終わった後はいつも仕事に対して前向きな気持ちをもつことができるようになっていました。これからも、研修を通して授業力を磨き、頑張っていきたいと思います。」「一年間、様々な研修を受けてきた中で、当時は話を聞いてもあまり分からないこと、実感がわかないことも多かったです。今になって、その時実感できなかったことも、多くを経験し、身にしみついてきたと思います。研修で得た経験、普段の学校生活で得た経験をすり合わせ、決して忘れることなく、教員としてステップアップしていけるように、常に自己研鑽の意識を忘れることなく、これからも励んでいきたいと思います。」「今振り返ると慌ただしい一年でしたが、コロナ禍の中でも研修の機会を設けて頂いて同期とも関わって、私は充実した研修を受講できてよかったと感じています。よい先生になりたいという思いが正直疲弊で薄れることもありましたが、初任者研修を受講することで、もう一度心を奮い立たせることができました。」「初任者研修では、同期の先生方の思いを聞いたり、自分の思いを話したりすることができました。先生方の思いは私と同じところがたくさんあり、安心しました。初任者研修でできたつながりを大切にこれからもチーム奈良県で働いていきたいと思いました。」などの感想を聞くことができました。



講義の様子（高等学校）



グループワークの様子（特別支援学校）



家庭科実習の様子（中学校）



理科の実験の指導（小学校）

奈良県先生応援サイトについて

先生方の日々の教育活動を支援するため、優れた取組例や課題の解決方法等、教育活動に役立つ情報を共有し活用するためのウェブサイトを開設しています。

サイトは、「ホーム」「教育に関するQ&A」「教育に関する資料・データ」「役立つリンク」の4つのカテゴリーで構成されています。

<http://www.e-net.nara.jp/ouen/>



初任者の給与（新卒の場合）

小中学校

区分	大学院卒	大学卒	短大卒
給料の月額(教職調整額含む)	241,800円	219,232円	196,144円
義務教育等教員特別手当	3,000円	2,600円	2,300円

県立学校

区分	大学院卒	大学卒	短大卒
給料の月額(教職調整額含む)	241,800円	219,232円	193,128円
義務教育等教員特別手当	3,000円	2,600円	2,200円

○資料:令和3年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験の結果

	採用予定者数 A		出願者数 B		受験者数 C		1次合格者数 D		2次 合否対象者数 E		2次 合格者数 F		受験倍率 (C/F) G	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
小学校	120	120	665	674	602	601	282	302	278	296	120	120	5.0	5.0
中学校	115	105	554	497	485	436	232	229	225	224	115	105	4.2	4.2
高等学校	50	57	398	400	339	333	140	153	140	150	50	57	6.8	5.8
特別支援学校	30	30	135	165	123	141	74	61	71	61	30	30	4.1	4.7
養護教諭	10	10	109	127	100	107	29	26	29	26	10	10	10.0	10.7
栄養教諭	6	6	40	33	33	28	15	12	15	12	6	6	5.5	4.7
実習助手	2	3	11	15	10	13	5	7	5	7	2	3	5.0	4.3
合計	333	331	1912	1911	1692	1659	777	790	763	776	333	331	5.1	5.0

教員採用候補者選考試験のご案内

令和4年度の奈良県公立学校教員採用候補者選考及び任用については、下記の要領で実施する予定です。

なお、詳細は5月上旬に交付予定の「令和4年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験受験案内」を参照してください。

出願から任用までのスケジュール（予定）

受験案内交付
願書受付

令和3年5月上旬～中旬

1次試験

6月26日（筆記）
27日（中学校・高等学校実技）
7月10日、11日の1日（集団面接）

1次試験結果通知

8月上旬

2次試験

8月11日（小学校実技）
8月14日～18日の1日（個人面接）

2次試験結果通知

9月中旬

赴任校内定

令和4年3月中下旬

任用

令和4年4月1日

講師募集の案内

令和3年度及び令和4年度奈良県公立学校講師も随時募集しています。
詳細は教職員課までお問い合わせください。

奈良県教育委員会事務局教職員課

〒630-8502 奈良市登大路町30番地
TEL：0742-27-9852 FAX：0742-24-7256
HP <http://www.pref.nara.jp/1695.htm>